

松中だより

令和6年4月8日発行
東松山市立松山中学校
校長 梶田 英司

《学校教育目標》○思いやりのある生徒 ○健康で明るい生徒 ○自ら学習する生徒

入学・進級おめでとうございます！

麗らかな春の温もりを感じつつ、令和6年度入学式・始業式を挙行了しました。新入生184名、2年生155名、3年生169名、計508名にて新年度が始まりました。充実した1年間になることを心から期待します。



学校教育目標

○思いやりのある生徒 ○健康で明るい生徒 ○自ら学習する生徒

開校から78年目を迎えました。その間在籍した生徒が目標として追い求めたものが標題の学校教育目標です。「思いやりのある生徒(徳)」「健康で明るい生徒(体)」「自ら学習する生徒(知)」で構成されます。加速度的に発展を遂げる今般、学びやコミュニケーションの質的な見直しが求められています。知・徳・体のバランスのとれた未来の人財育成のために教育活動を推進してまいります。

目指す人間像

入学式・始業式では、松山中学校で学ぶ生徒として「〇〇な人」と目指す人間像を示しました。以下、その要旨です。

1 「人を尊ぶ人」

「尊ぶ」とは、人を大事に、言い換えれば人をいたわる気持ち。身体の成長と共に育てていかなければならないのが心の成長。自分を大切に、他の人も大切にすること、自分の生命を大切に、他の人の生命も大切にすることに真剣に向き合うこと。様々な人々の支え、関わりをもつ方々の気持ちを慮り、感謝し、人を慈しむことのできる人、これが「人を尊ぶ人」。

2 「たくましい人」

つまり健康な心身をつくること。勉強でもスポーツでも、必要なのは集中力。長い時間、勉強を続けるために必要なのは、忍耐力。この集中力や忍耐力は健康な心身がなければ身につけません。心と体の二つが健康であることが大事。病気や怪我の予防などの自己管理とともに、自分を律する心や逆境を乗り越える心の強さ・たくましさを高めること。体育の授業・部活動・清掃活動やボランティア活動などを通して心身共に鍛えられた「たくましい人」に。

3 「本気で学ぶ人」

必要なのは、考える力をつけることと主体性。自分なりの考えを持ち、他の人と伝え合い、さらに自分の考えを深めることが大切な時代。学習も運動も問いを立て、どうしたら答えを導き出すことができるか、自分の頭で考えることが大事。簡単に手に入れられる情報や物事を何も考えずに鵜呑みにすることなく、考えることを大切にすること。そして、自分で考えたことを仲間と伝え合い、支え合い、学び合ったとき、考えはさらに高められ、深められる。自ら進んで学習する姿勢・自ら進んで運動する姿勢、これが「本気で学ぶ人」。

さらに具体的な下記の8つの生徒像を期待しています。

(1)元気に澆刺と行動できる生徒
(2)将来の夢を持ち、志を立て、学ぶ意欲高く、集中できる生徒
(3)規則正しい生活ができ、心身をきたえる生徒
(4)いろいろなことによく気づき、人の気持ちをよくわかろうとする優しい生徒
(5)先生を信頼する生徒
(6)整理整頓ができ、美しいものに感動し、よく働く生徒
(7)さわやかなあいさつができ、愛校心を持ち、心を込めて歌える生徒
(8)東松山を誇りに思う生徒

